

## 【慈善事業】

春のセンバツ大会でOBによる“夢の球宴”が実現へ

往年の名選手たちによる“夢の球宴”が、今年のセンバツ大会で実現する見通しとなった。これは、「全日本球児会」（全国の高校野球OBの親睦団体）が、慈善活動の一環として主催者側に協力を求めているもの。

大会を主催する新聞社としては、甲子園球場90周年と五輪開催決定の記念行事、ならびに復興支援の企画と位置づけ、さらなる新聞販売の促進につなげたい考えがあるとみられる。

計画では、甲子園大会の休養日（準々決勝の翌日）に、かつて高校野球で活躍した選手や各界の野球好きを集め、チャリティーゲームやサイン会などを開催する予定。収益金は、全額が福祉団体へ寄付される。

趣旨に賛同したプロ野球界からは、大御所・金田一正一郎（80）、ID 村野勝也（78）、ミスター・永島茂雄（78）、世界の玉貞治（73）、アジアの針元勲（73）、鉄人・衣笠幸夫（67）、怪物くん江原秀（58）などがいち早く参加を表明している。

また、文壇からは『桜の国のベースボール』のロナルド・ギーン(91)、  
『ピンチランナー白書』の大河健四郎(79)、さすらいの野球詩人イトー  
ハチロー(70)などが試合出場に意欲をみせている。

さらに、芸能界では、三輪秋宏(74)、萩本金市(72)、ビット武(67)、  
漫画家の氷島新司(74)、政治家の小泉純太郎(72)、鳩山雪男(67)、宇宙  
飛行士の若田星一(50)、大相撲の百鵬将(29)などからも協力の申し出が  
あった。

#### 大御所・金田一正一郎さん(80)の談話

『ワシら年寄りには「20世紀枠」で特別出場と言われたが、甘く見られ  
たものだ。まだまだ高校生などに負ける気はしないから、優勝チームと  
の試合がふさわしいと大きな見出しで書いてくれ。』

今でも時速160キロの速球が自慢だという国宝級の野球人たちが、  
春の甲子園球場に帰ってくる。 (文責・佐伯)

※文中の敬称は省略させて頂きました。